一味違う工夫に満ちた文化祭

現役生の活躍の一端はブログで

東住吉高等学校の文化祭は９月13日（月）に昨年同様一般開放せず関係者のみという形で開会されました。新型コロナウイルスの蔓延の進捗を受けて、ここに至るまでに模擬店、合唱の中止など企画の変更に次ぐ変更、さらには感染者発生による直前の臨時休業（９月８日から９日まで）と困難な状況を乗り越え、やっとの思いでの文化祭実施となりました。

その中で、現役生の発想の順応は素晴らしく、正面玄関前の通路に設置された巨大なオブジェは夕方には光の演出がなされるなど、一味違う工夫がそこここに施されていました。

現役生の活躍の一端は、東住吉高等学校のブログから垣間見ることができます。ぜひ、ご一読ください。URL https://www.osaka-c.ed.jp/blog/higashisumiyoshi/
右下は　萩原校長のブログの引用です。

玄関前のオブジェ

夕方には巨大なライトアートに

芸文科の発表

回転シーソー

【ブログ引用】

長いようで短い１日が終わりました。今年も、皆さんは、ヒガスミの新しい文化祭の伝統を築いてくれました。

２・３年生では、これまでにない大型の展示や教室内コーヒーカップや回転シーソーが登場しました。また各クラスでの映像やゲームなども新しい発想で工夫を凝らしたものが沢山見られ、見応えがありました。

芸能文化科の皆さんは、見事にお琴、三味線、日本舞踊、漫才、落語、狂言など伝統をつないでくれました。今年は、特に芸能文化科、普通科、共生推進教室の垣根を越えて、多くの交流ができたと思います。

これからもヒガスミで「様々な友と共に学び、共に過ごした日々」を大切にして、これからの残りの高校生活をしっかり生きてほしいと思います。また、裏方で支えてくれた先生方や生徒会の皆さんにも心から敬意を表します。

皆さん一人ひとりは限りない才能に満ち溢れています。どうか残りの高校生活を大切に過ごしてください。今日は、本当に素敵な文化祭でした。ありがとう!!!

担任団の立体造形

ヒガスミニュース　コロナ禍の苦難を乗り越え、修学旅行を挙行

令和３年度の修学旅行は、コロナ禍による度重なる日程変更、行程変更の中、11月17日から19日に実施されました。

当初は、海外又は沖縄の修学旅行が予定されていましたが、緊急事態宣言により、変更を余儀なくされました。また事前に全員のＰＣＲ検査を執行条件とする旨、府教育委員会通知がされるなど苦しい選択を迫られる中、何としても生徒たちの一生の思い出づくりを、との思いで検討を重ねた結果、安全・安心に全員が宿泊できるホテルと活動場所を確保することを第一優先として、富士・箱根方面へと旅程変更となりました。

富士山を背景に、富士急ハイランドにて。

１日目は、バス旅で犬山城、明治村での地域・文化体験。宿泊先は、ホテル「ＴＨＥ　ＨＡＭＡＮＡＫＯ」でした。

２日目は、生徒たちが楽しみにしていた富士急ハイランドでの班別観光です。生徒たちは、雄大な富士山をバックに思う存分、絶叫マシンを満喫しました。

最終日３日目は、芦ノ湖海賊船や大涌谷観光を堪能。子どもたちの心には、友の笑顔と富士山の雄姿が刻まれていることでしょう。なお、その様子は学校ホームページの「校長ブログ」に掲載しています。ぜひご覧ください。